

逝ける映画人を偲んで 2019-2020

2021年7月20日(火)～9月5日(日)

国立映画アーカイブでは、日本映画の輝かしい歴史を築き、惜しまれながら逝去された映画人の方々と、それぞれの代表的作品を上映することで追悼する企画「逝ける映画人を偲んで」を2年ぶりに開催します。この2年のうちにも、日本映画は多くのかけがえのない人々を失いました。

今回の特集では、2019年1月1日から2020年12月31日の間に逝去された方々を取り上げ、京マチ子、渡哲也、森崎東、大林宣彦の各氏をはじめ、俳優・製作・監督・脚本・撮影・照明・録音・美術などを手掛けたスタッフの方々、合計70名以上の映画人の業績を、作品の上映を通して、回顧・顕彰いたします。

会期中は、劇映画・ドキュメンタリー・アニメーションなどさまざまなジャンルの全57作品を55プログラムに組んで上映します。縁の方々、そして映画ファンの皆様にも広くお知らせしたく、ぜひご紹介いただけますと幸いです。



『夫婦』

《本特集で追悼する方々と上映作品》(五十音順) *印は成人指定作品です。当該の上映回に女性専用席を設けます。

青山京子 (俳優)
伊地智啓 (製作)
市原悦子 (俳優)
岩名雅記 (監督)
上垣保朗 (監督)
上野隆三 (脚本)
植村伴次郎 (製作)
内田裕也 (ミュージシャン・俳優)
梅野泰靖 (俳優)
梅宮辰夫 (俳優)
及川一 (美術)
大澤豊 (監督・製作)
大林宣彦 (監督)
岡田裕介 (製作・俳優)
織本順吉 (俳優)
桂千穂 (脚本)
川又昂 (撮影)
河原崎次郎 (俳優)
岸富美子 (編集)
岸部四郎 (タレント・俳優)
京マチ子 (俳優)
日下部五朗 (製作)
久米明 (俳優)
ケーシー高峰 (漫談家・俳優)
小谷承靖 (監督)
小林壽夫 (製作)
近藤美恵子 (俳優)
坂上順 (製作)
佐々部清 (監督)
佐藤純彌 (監督)
志賀勝 (俳優)
穴戸錠 (俳優)
志村けん (コメディアン・俳優)
笑福亭松之助 (落語家・俳優)

『弁天小僧』 (1958)
『わたしのSEX白書 絶頂度』 (1976) *
『わらびのこう 藤野野』 (2003)
『シャルロット すさび』 (2017)
『ピンクのカーテン』 (1982) *
『仁義なき戦い』 (1973)
『宇宙からのメッセージ』 (1978)
『嗚呼!おんたち 猿歌』 (1981) *
『真夜中の顔』 (1958)
『花札渡世』 (1967) 『仁義なき戦い』 (1973) 『実録 私設銀座警察』 (1973)
『スパイ・ゾルゲ』 (2003)
『遥かなる甲子園』 (1990) 『戦争と青春』 (1991)
『日本殉情伝 おかしなふたり ものくるほしきひとびとの群』 (1988)
『ふたり』 (1991) 『愛の嵐の中で』 (1978/出演)
『宇宙からのメッセージ』 (1978) 『動乱』 (1980)
『日本妖怪伝 サトリ』 (1973) 『宇宙からのメッセージ』 (1978)
『ふたり』 (1991)
『影の車』 (1970)
『日本妖怪伝 サトリ』 (1973) 『月山』 (1979)
『白毛女』 (1950)
『愛の嵐の中で』 (1978)
『牝犬』 (1951) 『雨月物語』 (1953) 『大阪の女』 (1958)
『濡れ髪牡丹』 (1961)
『仁義なき戦い』 (1973)
『動乱』 (1980)
『遥かなる甲子園』 (1990)
『愛の嵐の中で』 (1978)
『ありふれた愛に関する調査』 (1992)
『弁天小僧』 (1958)
『動乱』 (1980) 『鉄道員』 (1999)
『チルソクの夏』 (2003) 『鉄道員』 (1999/助監督)
『実録 私設銀座警察』 (1973)
『仁義なき戦い』 (1973) 『岸和田少年愚連隊』 (1996)
『拳銃は俺のパスポート』 (1962) 『紅の流れ星』 (1967)
『鉄道員』 (1999)
『岸和田少年愚連隊』 (1996)



『花札渡世』



『日本殉情伝 おかしなふたり ものくるほしきひとびとの群』



『雨月物語』

杉葉子 (俳優)
鈴木肇 (録音)
仙元誠三 (撮影)
高島忠夫 (俳優)
高瀬将嗣 (技斗・監督)
田中康義 (監督・製作)
多良政司 (調音)
長野重一 (写真家・撮影)
中村和子 (アニメーター)
成田尚哉 (製作)
西岡善信 (美術)
西田良 (俳優)
野口貴史 (俳優)
野崎健輔 (監督)
野村岳也 (監督)
萩原泉 (撮影)
原知佐子 (俳優)
原口剛 (俳優)
春木章 (美術)
降旗康男 (監督)
本田孜 (録音)
松江陽一 (製作)
松本憲人 (照明)
港雄一 (俳優)
宮城まり子 (俳優・監督)
宮坂進 (製作)
村野鐵太郎 (監督)
森崎東 (監督)
柳生悦子 (衣裳)
矢島信男 (特撮)
八千草薫 (俳優)
山田スミ子 (俳優)
山本昌平 (俳優)
山谷初男 (俳優)
吉田達 (製作)
吉武美知子 (製作)
和田周 (俳優)
和田誠 (イラストレーター・監督)
渡邊亮徳 (製作)
渡哲也 (俳優)

『夫婦』 (1953)
『岸和田少年愚連隊』 (1996)
『処刑遊戯』 (1979)
『坊ちゃんとワンマン親爺』 (1959)
『嗚呼!おんなたち 猥歌』 (1981) * 『ビー・バップ・ハイスクール 高校与太郎行進曲』 (1987)
『ケメ子の唄』 (1968)
『岸和田少年愚連隊』 (1996) 『スパイ・ゾルゲ』 (2003) 『わらびのこゝろ 蕨野行』 (2003)
『日本殉情伝 おかしなふたり ものくるほしきひとびとの群』 (1988) 『ふたり』 (1991)
『火の鳥 2772 愛のコスモゾーン』 (1980)
『天使のはらわた 赤い眩暈』 (1988) *
『弁天小僧』 (1958)
『仁義なき戦い』 (1973)
『仁義なき戦い』 (1973)
『映像評伝 仁科芳雄 現代物理学の父』 (1991)
『伝統工芸技術記録映画シリーズ-28- 読谷山花織一與那嶺貞のわざー』 (1960)
『霧の夜の男』 (1968)
『女子大学生 私は勝負する』 (1959) 『わらびのこゝろ 蕨野行』 (2003)
『日本妖怪伝 サトリ』 (1973) 『スパイ・ゾルゲ』 (2003)
『戦争と青春』 (1991)
『鉄道員』 (1999)
『戦争と青春』 (1991)
『どですかでん』 (1970)
『共喰い』 (2013)
『濡れ牡丹 五悪人暴行篇』 (1970) *
『ねむの木うたの詩』 (1968)
『ドレミファ娘の血は騒ぐ』 (1985)
『月山』 (1979)
『野良犬』 (1973) 『黒木太郎の愛と冒険』 (1977)
『ロマンス娘』 (1956)
『宇宙からのメッセージ』 (1978)
『蝶々夫人』 (1955)
『岸和田少年愚連隊』 (1996)
『濡れ牡丹 五悪人暴行篇』 (1970) *
『日本妖怪伝 サトリ』 (1973)
『実録 私設銀座警察』 (1973)
『ユキとニナ』 (2009)
『動乱』 (1980)
『MURDER!』 (1964) 『麻雀放浪記』 (1984)
『宇宙からのメッセージ』 (1978)
『愛と死の記録』 (1966) 『紅の流れ星』 (1967) 『前科・仮釈放』 (1969) 『野良犬』 (1973)



『黒木太郎の愛と冒険』



『前科・仮釈放』

逝ける映画人を偲んで 2019-2020

In Memory of Film Figures We Lost in 2019 -2020

会期：2021年7月20日(火) - 9月5日(日) ※月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール O Z U [2階]

HP：https://www.nfaj.go.jp/exhibition/yukeru202106/ お問い合わせ：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

料金：一般 520円 / 高校・大学生・65歳以上 310円 / 小・中学生 100円 / 障害者 (付添者は原則1名まで)・キャンパスメンバーズは無料 [Pコード：551-490]

* 7月16日以降、毎週火曜日 10:00am より、チケットぴあにて翌週(火~日)の上映回の前売指定席券を販売します。同じ作品でも上映日によって発売日が異なりますのでご注意ください。(※7/9更新)

* 前売指定席券のみ販売いたします。館内でのチケットの販売はございません。

* 障害者 (付添者は原則1名まで)・国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方も前売指定席券をお求めください。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、変更が生じる可能性があります。最新情報は当館HPを随時ご確認ください。※

【本特集に関するお問い合わせ】国立映画アーカイブ (上映室：横田・玉田・森宗)

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 MAIL：pr@nfaj.go.jp TEL：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830